

コウワ

溶接加工を主事業に オリジナルブランド製品も展開

メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



自社ブランド品の展開にも注力

主な事業内容

農機・建機向け溶接部品、自社ブランドオートバイ部品の製造

主な取引先(納入先)

農機メーカー、建機メーカー、オートバイ部品問屋

主な製品

ブラケット、ミラースタンド

業務内容 農機・建機部品をメインに オートバイ向け製品も

ブラケットやミラースタンドなど、ロボット溶接を中心とした農機や建機向け部品をメインに手がけ、製缶加工も得意とする。また、高精度な旋盤加工機を保有し、精度が求められる切削加工についても多様な顧客ニーズに対応。ワンオフ製品の試作・開発も行う。

これらの主事業で培った技術を応用し、約5年前から自社製品としてオートバイ用のクロモリ製アクスルシャフトを中心とした製品を「K O O D (クード)」のブランド名で製造・販売している。

農機・建機向け溶接部品が全体の80%を占め、K O O D 関連製品が20%という売上げ構成。溶接加工と自社ブランド品を2本柱に事業を展開している。

強み 産学連携生かし技術と 品質の向上に注力

創業以来40年にわたり培ってきた溶接の技術力に加え、複数台の溶接機やNC(数値制御)旋盤など充実した設備を保有しているのが強み。最近では産学連携に力を入れ、さらなる技術向上にも取り組んでいる。量産品を得意とするが製品形状や設計についてなど細かな相談にも応じる。

また、不良品が発生しやすいポイントなどを経験的に予測し、これを集中的にチェックすることで不良品発生率を低減。高い生産性を維持している。

これらの技術力を生かして手がけるオートバイ部品「K O O D」は、国内はもとより海外でも評価が高く、オリジナルブランド品としてオートバイレース業界で徐々に知名度が向上。産学連携により製品の母材素性の解析や、精度と耐久性などについて数値的な裏付けに取り組んでいる。大学教授の論文を通じて、信頼性の周知を進める考えだ。

組織づくり 社内体制を整備し 事業の拡大・発展を図る

中堅・中小企業の人材確保が難しい中、同社ではこれまで知人・友人を採用するケースが多かったが、ここ最近では2人のインドネシア研修生を採用した。しかしながら人材難は今後も続いていくと予想される。そこで現在、社会保険制度や労務規定の確立など社内体制の整備に力を入れ、会社としての組織づくりを進めている。浮田和宏代表は「今までどおりアットホームな社風を変えることはないが、人材の確保・定着を強めるためにも体制づくりを進める」と強調する。K O O D 事業の拡大・発展のためにも不可欠な取り組みであると位置づけている。

代表者あいさつ



代表
浮田 和宏さん

創業以来、ロボット溶接による量産部品をメインに手がけてきました。ノウハウには自信があります。最近では持ち前の技術を生かし、自社ブランド品としてオートバイ向けカスタムパーツの提案に力を注いでいます。このカスタムパーツは国内だけでなく海外からの引き合いも徐々に増えてきています。

主な保有設備

- CO₂溶接機 350インバータダイヘン製 2台
- TIG溶接機 300インバータダイヘン製 2台
- ロボット溶接機 アルメガ350 1台・500 2台
- NC旋盤 NL3000 DMG森精機製 1台

大阪
01

住 所 / 〒580-0006
松原市
大堀5-4-5
T E L / 072-289-6405
F A X / 072-289-6406
創 業 / 昭和54年1月
設 立 / —
資本金 / —
従業員 / 6名



職人の経験と技で不良率を低下



豊富な溶接機で生産性を高める



<https://kood.jp/>